

《今月のトピックス》

泌尿器科 ダビンチ手術開始！

ダビンチはアメリカで開発された内視鏡手術支援ロボットです。日本では2018年に前立腺がんに対してロボット支援前立腺全摘除術が健康保険の対象となりました。

多摩病院では2022年1月にダビンチによるロボット支援下前立腺全摘術を始めました。

ダビンチは3Dカメラで体内を立体的に鮮明に映し、小さな穴から内視鏡や鉗子を差し込んで、モニターを見ながら術者が操作します。ロボットが勝手に手術するわけではなく、あくまでも術者が手術をします。より正確に、人間の手と同等以上の動きをロボットが支援するものです。

腹部の傷は約3cmが1箇所、1cmが5箇所の小さな傷のみであるので、開腹術に比べ、痛みが少ないと言われています。前立腺についている括約筋を確認し、その筋肉を損傷しないで丁寧に剥がすことで術後の尿失禁の早期改善につながります。

がん病巣を十分に取り除き、ダビンチ手術で更に正確で精密な手術を目指しております。

術後の経過は個人差がありますが、約10日間の入院期間です。

患者さんの適切な治療の一つとして、より安全で侵襲の少ないダビンチによる手術を進めていきます。



《ご意見・ご要望について》

Q：父がとても良くいただいていると喜んでいました。

コロナで面会はできませんでしたが、家族として安心してお任せできました。

病室も窓が大きく気持ち良く過ごせたと感じておりました。ありがとうございました。

A：あたたかいご意見ありがとうございました。

引き続き、患者さんに安心していただけるよう心掛けてまいります。